



## R-CAPの自己分析

R-CAPの結果返却は、なかなか楽しそうな雰囲気よかった。なにせ結果が手もとに届いた時は、最後のパーソナリティタイプのところの「②いたわり・親和」の低さ（笑）が目立っているような印象があったので、このまま返却したらショックを受けるのでは…と心配したのだが、君たちの表情を見てるとまったくもって杞憂であったことが明らかとなったのであったよ（なりけり）。ちなみに、パラパラめくった感じでは、「③攻撃・支配」が高い感じである（分かるような…笑）。また、「⑥変化・好奇心」、「⑦柔軟・多様性」が高い傾向にある感じである。

さて、その結果をもとにまとめのワークシートを記入してもらったわけだが、職業適性に関する感想では、「思った通りだった」という感想と、「思ってもみない職業が並んでいてビックリした」が半々くらい。

ただ、全般的には、「職業の適合度の高いもの」として挙げられた職業に対しては、「意外だった〜！」と感じたり、「5つ挙げられているものの関連性が分からない」といった感想が多かったのに対して、「職業の適合度の低いもの」として挙げられた職業に関しては、「確かに自分でもそう思う」といった感想が多かった。つまり、やりたくないことは分かっているということか…？

学問分野に関する結果では、第1位になっている分野を単純に合計すると、

- 医歯薬系 5名
- 農学系 2名

- 理学系 3名
- 工学系 4名
- 情報系 2名
- 家政系 2名
- 人文系 8名
- 社会系 3名
- 商業系 2名
- 語学系 2名
- 教育系 2名
- 芸術系 2名
- スポーツ系 2名

という結果であった。まあ、ほどよく分散している感じだが、人文系が多いのは「歴史学」となっている人が4人もいるからで、ちょっとN里先生に影響されすぎだろう…みたいな感じではある（笑）。

これに関しても、「適合度の低い分野」に関しては「どれもあまり興味のないものだった」という感想が多いのに対して、「適合度の高い分野」については、「自分は文系（理系）と思っていたのに理系（文系）が多い」といった感想や、「驚いた」といった感想が多かったように思う。

\*

学級タイムの時に話したが、この調査、付録の「仕事カタログ」や「学問カタログ」を参考にして、自分が意外だと思った分野の職業や学問、また、結果として出てきたのに知らない職業や学問があったら、それに関する知識を蓄えてほしいというのが中心的なメッセージである。ぜひ有意義に活用してほしい。